

## 自主性を擁護し実現するたたかいにおける チュチェ思想研究普及の重要性、成果と経験

アジア・チュチェ思想研究所書記次長  
ネパール自力更生研究フォーラム会長  
スバシュ・カジ・シュレスタ

私はまず、アジア・チュチュ思想研究所の書記次長、ネパール自力更生研究フォーラム会長として今回のセミナーに招請し、また「自主性を擁護し実現するたたかいにおけるチュチェ思想研究普及の重要性、成果と経験」と言う題で討論できるようにしてくれたことについて組織委員会と全ての著名な参加者たちに私の心からの謝意を表します。

チュチェ思想は人間中心の哲学思想です。こういうことによりチュチェ思想は徹底した革命哲学、政治哲学となります。

革命実践に解答を与えるため厳しい闘争の中で創始され、革命実践において提起される思想的・理論的問題に解答を与える課程に豊富化された思想であることから、チュチェ思想は革命闘争の最も正しい道を明らかにした強力な思想的・理論的武器となります。

チュチェ思想は、人民大衆はあらゆるものの主人であり、全てを決定するという見解と立場から出発して人民大衆の要求を実現し、彼らの闘争の中で収めた経験を一般化する課程に展開されました。

したがって、チュチュ思想は人民の自主的要求を実現し、また、彼らがそれを自分の闘争の武器として理解しやすい絶対的な真理となります。

まず、チュチェ思想は、世界と人間との関係、世界における人間の地位と役割を哲学の根本問題として提起し、人間があらゆるものの主人であり、全てを決定するという根本原理を明らかにしました。

世界における人間の地位と役割は純粋な人間問題ではなく、人間を哲学的考察の中心に据えて見る世界観に関する問題です。こういうことから、この問題に解答を与える原理が人間中心の世界観に関する原理となり、同時に人間の運命開拓に奉仕する原理となるのです。

人間を中心にしてチュチェ思想はまた、世界は人間によって支配、改造され、また人間の主動的作用と役割によって人間に奉仕する方向に、そして、人間の発展に相応して世界が発展するという新しい見解を与えています。

世界に対する主体的見解に基づいてチュチェ思想は、世界は人間の利益の見地から、

また人間の活動を基本にして対応すべきであるとの世界に対する新しい見解と立場を打ち出しました。

このように、以前の全ての哲学思想とは根本的に区別されるチュチェ思想の特徴は、チュチェ思想が人間を中心にして哲学の根本問題を新たに提起し、また人間を基本にして世界に対応する観点と立場を提起したことにあります。

まさに、ここにチュチェ思想が徹底した革命哲学となる理由があります。一方、チュチェ思想は革命哲学であるだけでなく、政治の根本原理を明らかにする政治哲学です。

人民大衆の運命は政治が導く社会の発展とともに開拓されます。したがって、政治の根本原理を科学的に明らかにする哲学思想のみが人民大衆の運命開拓に真に貢献することができます。

チュチェ思想が明らかにした人間中心の哲学的世界観と社会・歴史観、また革命観の原理は、最も科学的な世界観の原理であるだけでなく、社会発展を正しく保証する政治の根本原理です。

こういう意味で、チュチェ思想は一つの政治哲学と見なされるのです。

哲学思想としてのチュチェ思想の特徴は、この思想が人間中心の哲学思想であるだけでなく、徹底した革命哲学、政治哲学であることによります。

自主性のための人民の闘争がいつよりも幅広く、またさまざまにおこなわれるチュチェ時代は、人民大衆が自己の運命の主人としての高い自覚を持って、自己の運命を自主的に、創造的に開拓できるようにする世界観を必要としました。

これは世界における人間の地位と役割に関する問題が提起され、それに解答を与えるときのみ解決できる問題なのです。

新しい時代のこのような要求に即して、チュチェ思想は世界における人間の地位と役割に関する問題を哲学の根本問題として提起し、その問題を解決したことによって哲学思想発展の新たな出発点を整えました。

次は、私の社会政治生活のさまざまな面からチュチェ思想を研究、普及しながら得た経験について話します。

今まで、チュチュ思想と自力更生、先軍政治、平和的統一と親善を研究する各組織に属した人々で構成された 50 個以上の団体がチュチェの国を訪問し、毎年、その数は増え続けています。

チュチェの国で起こった奇跡を目撃した彼らは、帰国して感じたことを書籍とネパールの日刊、週刊、月刊の新聞と雑誌に発表しました。

これはネパールの人民をしてチュチェ朝鮮に対してより多くのことを知るようになる重要な源泉となりました。

私自身も今までネパール人の中で朝鮮民主主義人民共和国を最も多く訪問した人として貴重な経験を持っています。

私は以前、ネパール・カブレ朝鮮統一支持委員会の委員長として、その後は自力更生研究フォーラムの会長として 100 余名のネパール人と一緒に朝鮮を訪問し、朝鮮とネパールでおこなわれたチュチェ思想に関する討論会に参加しました。

その彼らは、チュチェ思想の研究者に育ちました。

ネパールの自力更生、チュチェおよび先軍組織は金日成主席の誕生日である太陽節(4月15日)と金正日総書記の誕生日である光明星節(2月16日)、朝鮮民主主義人民共和国の国慶節(9月9日)、朝鮮人民の正義の闘争との国際連帯月間(6月25日~7月27日)、金日成主席の逝去日(7月8日)、金正日総書記の逝去日(12月17日)、抗日の女性英雄金正淑同志の誕生日と逝去日に際して談話発表と映画鑑賞会、図書展示会をはじめさまざまな行事をおこないました。

われわれは金正恩総書記と党と人民が、世界の全人民の自主性と繁栄を成し遂げ、この惑星で安定的かつ恒久的な平和をもたらすことに輝かしい貢献をすることを願います。

ともに、全ての人々と民族が主権を持った自主的な人民、自主的な民族になって自分の民主主義と歴史、また個性に合う人民の政権を持った社会主義社会を建設する道を選択して世界の建設に貢献しましょう。

世界の全ての進歩的で平和愛好的な人民は、国の自主的発展のための不滅の指針、平和的な環境で立派な生活を享受するための闘争で必要な不滅の指針を渴望してきました。

この目的を達成するためにチュチェ思想国際研究所とアジア・チュチェ思想研究所、各大陸のチュチェ思想地域研究所と各国のチュチェ思想、自力更生研究組織は、メンバーが自力更生に関する集会と討論会に参加するようにし、現実に対する実体験ができ、直接的な資料が得られる訪朝を組織すべきです。

百聞は一見に如かずという朝鮮のことわざがあります。朝鮮を一度訪問すると、われわれの大事な社会主義について西側の世界がどれほど否定的な宣伝をし、またどのようにふるまうかについてわかります。

親愛なる同志の皆さん

われわれは、われわれの自力更生のために、また平和的な社会で自主的に生きたいわれわれの念願のためにチュチェ思想を普及する上で互いに協力できる十分な条件を持っています。

これがまさに、朝鮮の同志に対するわれわれの連帯と厚い信頼の表しになるだろうと私は確信します。

この機会を借りて私は、ネパールの全てのチュチェ思想研究者とネパール・チュチェ思想研究組織、ネパール自力更生研究フォーラムと私自身を代表して朝鮮の自主的平和統一を成し遂げ、朝鮮を世界において社会主義強国に建設し、チュチェ偉業の終局的勝利のための朝鮮人民の百戦百勝の闘争を導いておられる金正恩総書記に最大の祝賀を送ります。

抜きん出た先見の明と卓越した政治実力で金正日総書記は国防中心の政治と先軍指導のみが帝国主義者の乱暴な挑戦から国を防衛し、人民の尊厳を守ることができ、繁栄する未来を保証することができると思なしました。

そして、金正日総書記は軍事と政治を有機的に結合させた独創的な先軍政治を打ち出しました。

明らかなことは、朝鮮労働党と朝鮮人民が最後の勝利のために朝鮮革命の真の継承者である金正恩総書記の賢明な指導のもとに固く団結していることです。

これがまさに、金正恩総書記の指導のもとにチュチェ思想化されている現代朝鮮で見られることです。

終わりに私は、朝鮮の自主的平和統一と朝鮮半島の永遠な平和を成し遂げ、世界で社会主義強国を建設するための朝鮮人民の正義の闘争に積極的な支持と連帯を送るこの重要なセミナーを組織してくれたことについて、組織委員会とこの場に参席した全ての同志と友人に深い謝意を表します。

ありがとうございます。